

3 先端設備等の導入を行う場所の住所

A工場：京都市〇〇区〇〇町〇〇番地

4 先端設備等が事業者の事業の改善等に資することの説明

既存設備では、高性能エンジン部品年間生産量が9,495トンである。また歩留り率は95%に留まっている。当社はこれらの抜本的な改善を目指すため、このたび、最新のプレス機械、油圧ハンマーの導入により時間あたり生産量を年間20%向上させることで売上拡大を図るとともに、フォーシングロール導入により歩留り率を4%改善し、99%とすることを旨とする。

先端設備等が、どのように事業の改善等に寄与するかという内容を記載する。

(例えば、生産量・販売量の増加や製造原価・販管費の削減の内容等を説明。)

5 設備投資の内容（必要に応じて別紙）

	取得年月	設備等の名称/型式	所在地	設備等の種類	単価(千円)	数量	金額(千円)	用途
1	令和5年12月	プレス機器/PR123-45	京都市〇〇区	機械装置	40,000	1	40,000	高性能エンジン製造
2	令和5年12月	空調設備/HM4321	京都市〇〇区	建物附属設備	15,000	1	15,000	同上
3	令和6年3月	測定機器/FR21-2	京都市〇〇区	器具備品	45,000	1	45,000	同上
計							100,000	

6 基準への適合状況

別紙